

フランク永井・魅惑の低音のすべて

きらめく昭和歌謡を切り開いた栄光の全記録

102ページカラー 待望の「フランク永井のデータブック」ができました!



フランク永井は1955(昭和30)年～1985(昭和60)年に活躍した不世出の歌手。「魅惑の低音」で昭和歌謡の頂点に君臨し偉業を残した。彼が歌った足跡をSP、EP、LPレコード、ソノシートから可能な限り収集して網羅した。「魅惑の低音シリーズ」第1～14集、「ステレオ・ハイライト」第1～6集、ジャズ・ワルツ・タンゴ・シャンソンなどの洋楽カバー曲(全102曲)もすべてリストアップした。年代順に曲名、作詞、作曲、編曲、盤IDとレコード・ジャケットを掲載した画期的なデータブック。

フランク永井常設展示室



フランク永井没1周年にあたる2009年10月27日に、出身地である宮城県大崎市松山に開設された。いまだ多くのファンを持つ「魅惑の低音」のフランク永井は「有楽町で逢いましょう」「君恋し」など多数の大ヒットを飛ばし、昭和歌謡黄金時代をリードして巨大な功績を残した歌手。フランク永井のレコード、トロフィーやショー衣装などのおよそ350点の貴重な遺品が展示されている。

入場料は210円(9:30-17:00、27日無料、月曜休館)
987-1304 宮城県大崎市松山千石字松山428
電話 0229-55-2215



企画・監修:矢萩光也
発行:(有)インピット

■冊子サイズ:A4変形(21×21cm)
■102ページ(カラー) ■定価2,000円(税込)

お取扱い

吉田正音楽記念館



吉田正音楽記念館は、2004年に吉田正のふるさとにオープンした。太平洋を一望できる眺望豊かな、茨城県日立市のかみね公園頂上にある。緑に囲まれた五階建ての建物は全フロアで吉田メロディーを楽しめる音楽あふれる施設。吉田正の遺品が展示され、作品も聴くことができる。一般観覧は午前10時から午後6時。5階展望台カフェは午後9時まで年中無休。入館料無料。

317-0055 茨城県日立市宮田町5-2-25
電話 0294-21-1125
<http://www.yoshidatadashiongakukinenkan.org/>

フランク永井 データ本

ファンが十数年かけ制作

大崎市出身の歌手フランク永井（1932〜2008年）の姉、永井美根子さん（84）が、大崎市の伊藤康志市長を訪れ、ファンが白費出版したフランク永井のデータブック100冊を寄贈した。

「フランク永井・魅惑の低音のすべて」と題した本は、都内の会社員矢萩光也さん（63）が企画・監修した。矢萩さんは「レコードを整理しているうちに全容を知りたくなった」といい、十数年前からファン仲間と資料収集を始めた。フランク永井はオリジナル曲からカバー曲まで768曲を歌ったとされ、レコード店を回るなどして約98%の曲を集めた。データブックには、1955年

伊藤市長（右）にフランク永井のデータブックを手渡す、姉の美根子さん（大崎市で）



出身地 大崎市に姉が寄贈

のデビュー曲「恋人よ我に帰れ」から、リリース年の順に曲名と作詞・作曲者、ジャケット写真などの一覧表を掲載している。矢萩さんは「彼の偉大なる全容を知ってほしい」と話している。

永井美根子さんは、伊藤市長に本を手渡し、「本を見て、1人で胸がいっぱいになったり、笑ってみたりした。放送されていない曲も入っていたのでびっくりしました」と話していた。本は2000円（税込み）。購入希望者は、発行元のインプットにファクス（03-53363-4869）で申し込む。

第4回歌コンクール
来年3月20日開催

「第4回フランク永井歌コンクール」（実行委員会など主催、読売新聞東北総局など後援）が来年3月20日、大崎市松山千石の大崎市松山体育館で開かれる。主催者は出場者130人（組）を募集している。

前日19日の予選会で30人（組）に絞り込み、20日午後零時半から決勝大会が行われる。参加審査料は3000円。観覧入場料は1200円。申し込みは、実行委員会（090・1492・0438）。インターネットでも応募できる。

「故郷のファンに」

魅惑の低音のすべて

大崎市松山出身で88年10月に76歳で死去した「昭和の大歌手」フランク永井さん。永井さんの愛称「永井美根子」が、大崎市の伊藤康志市長を訪れ、ファンが白費出版したフランク永井のデータブック100冊を寄贈した。

「フランク永井の足跡網羅 データブック100冊」は、大崎市内にファンが多い。矢萩さんは「本を見て、1人で胸がいっぱいになったり、笑ってみたりした。放送されていない曲も入っていたのでびっくりしました」と話していた。本は2000円（税込み）。購入希望者は、発行元のインプットにファクス（03-53363-4869）で申し込む。

大崎市内には、フランク永井のファンが数多くいる。矢萩さんは「本を見て、1人で胸がいっぱいになったり、笑ってみたりした。放送されていない曲も入っていたのでびっくりしました」と話していた。本は2000円（税込み）。購入希望者は、発行元のインプットにファクス（03-53363-4869）で申し込む。

フランク永井データ本、姉が寄贈

キャッチフレーズ「低音の魅力」で昭和歌謡史を彩った松山町（現大崎市松山）生まれの故郷フランク永井さん（1932〜2008）が、本を買い取ったうえでのプレゼント。二人で読んでいた胸がいっぱいになったり、喜んでいたり。市は有効な活用を約束した。



寄贈した本を手にする永井美根子さん（大崎市三本木）

本は東京在住で熱烈なフランクファンの矢萩光也さん（63）が、歌手の生前からデータを集め、勤務する「インプット」から10月下旬に発行した。タイトルは「フランク永井・魅惑の低音のすべて」。9500円。美根子さんは、東京都内の自宅から寄贈に訪れた。大崎市訪問は09年。

「出身」の大崎に100冊

にフランク永井常設展示室が松山ふるさと歴史館内に開設された時以来、82歳まで20年ほど（弟の）面倒が見られた。ありがたかった。本には私の知らないこともたくさん記してある」と話した。

矢萩さんは「お姉さんを励ましたい」と、フランクさんにカムバックを望むファンが多いことを訴えたくて、20年ほど前から資料収集をしていた。生中に出版できなかったことを残念がながらも「全容を知りたい人、知らない人に紹介できたことに満足している」と話した。

美根子さんと懇談した伊藤康志市長は、フランク永井さんの「おまえに」がカラオケの持ち歌であることを述べ、「先生をさらに知ってもらふ活用します」と語った。

故 フランク永井さんの魅力網羅 データ本大崎市に寄贈

「ファンの手にとって」

大崎市松山出身の歌手、フランク永井さん（1932〜2008年）の姉、永井美根子さん（84）が、大崎市の伊藤康志市長を訪れ、ファンが白費出版したフランク永井のデータブック100冊を寄贈した。

「フランク永井の足跡網羅 データブック100冊」は、大崎市内にファンが多い。矢萩さんは「本を見て、1人で胸がいっぱいになったり、笑ってみたりした。放送されていない曲も入っていたのでびっくりしました」と話していた。本は2000円（税込み）。購入希望者は、発行元のインプットにファクス（03-53363-4869）で申し込む。